

平成20年度

財団法人秩父地域地場産業振興センター事業報告書及び決算書

《第26期》

自 平成20年 4月 1日

至 平成21年 3月31日

法人名 財団法人 秩父地域地場産業振興センター

代表者職氏名 理事長 栗原 稔

所在地 埼玉県秩父市宮側町1番7号

## 平成20年度事業報告

### <事業の概要>

当センターは、秩父地域における地場産業振興の拠点施設として、昭和60年4月にオープンし、国・県及び秩父市並びに関係諸団体と緊密な連携を取りながら、地域産業振興のための各種事業を実施してきた。

平成20年度においては、広域秩父産業連携フォーラム(FIND Chichibu)の活動を中心とした「産学官連携事業」・「産学官コーディネート事業」の他、新たに経済産業省の地域力連携拠点事業を(財)埼玉県中小企業振興公社より再委託事業として実施するとともに、「秩父地域活性化推進事業」、「需要開拓事業」、「情報対策事業」等を地域産業振興事業として積極的に実施した。

また、独立採算制を目指し、営業活動を充実させ「地場产品展示販売事業」、「施設利用促進事業」についても積極的に実施した。

尚、各事業実施内容については、次のとおりである。

### 1. 産学官連携事業(1/2市補助事業)及び再委託事業(経済産業省地域力連携拠点事業)

#### (1) 近隣大学・公設試験機関及び支援機関と地元企業等の交流

##### ① 「地域経済自立化機能体・広域連携強化研修会」参加

日 時 平成20年6月6日(金)

場 所 首都圏イノベーションセンター(略称:MICAN)

内 容 ○事例研究

- ・おやま産学官ネットワーク(小山市)
- ・コラボしずおか有限責任事業組合(静岡市)
- ・NPO 法人 諏訪圏ものづくり推進機構(諏訪市)

○講演研修

テーマ「これからの地域経済自立化機能体の役割」

～ものづくり企業人からの期待～

講 師 (株)エリオニクス代表取締役社長 本目精吾氏

##### ② 「FIND Chichibu 総会」開催

日 時 平成20年6月24日(火) 15時～

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室 他

内 容 ○広域秩父産業連携フォーラム FIND Chichibu 総会

○講演会の開催

テーマ「ホンダの企業戦略と地域ビジネス」

講 師 元ホンダエンジニアリング(株)技術主幹 長竹重明氏

○交流会

参加者 地域内企業、大学・研究支援機関、金融機関、行政機関、  
地域内会議所・商工会 市議会議員 等

○意見交換会

##### ③ 「マネージメント・セミナー in WASEDA 」全3回参加

日 時 第1回 平成20年6月26日(木) 14時～16時30分  
第2回 平成20年7月24日(木) 14時～16時30分  
第3回 平成20年8月21日(木) 14時～16時30分  
場 所 早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター3階 レクチャールーム  
内 容 ○セミナー

テーマ 「眠れる”地域資源”を世界ブランドに！！」

講 師 (有)フィールド・サイド 代表 田端克雄氏

第1回 戦略的な新商品の企画開発とは

ゲスト講師 (株)岩崎食品工業 常務取締役 神田広人氏

第2回 地域資源から地域ブランドへ

ゲスト講師 東洋パーツ(株) 会長 小菅一憲氏

第3回 域外市場を狙った事業展開へ

ゲスト講師 (有)シライデザイン 代表 白井要一氏

参加者 FIND Chichibu デザイン分科会員等

④ 「秩父市商工業振興対策事業 特別講演会」参加

日 時 平成20年8月20日(水) 15時30分～

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室 他

内 容 ○講演会の開催

テーマ 「The Power of Dreams—Honda Way の紹介—」

講 師 本田技研工業(株) 取締役相談役 吉野浩行氏

○懇親会

参加者 地域内企業、金融機関、行政機関、広域秩父産業連携フォーラム会員等

⑤ 「ホンダ寄居進出 第3弾講演会」開催

日 時 平成20年10月21日(火) 17時30分～

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室 他

内 容 ○講演会の開催

テーマ 「HONDA 寄居進出の光と影」

講 師 寄居町商工会副会長

寄居ホンダプロジェクト実行委員会 委員長

(株)シバサキ製作所 代表取締役社長 柴崎 猛氏

○懇親会

参加者 広域秩父産業連携フォーラム会員 等

⑥ 「FIND Chichibu 中間報告会」(成果発表会)開催

日 時 平成20年12月9日(火) 16時～

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 3階301大会場室 他

内 容 ○FIND Chichibu 成果発表会

・コーディネート事業報告

儲かる経営塾修了証授与、アンケート報告

・部会活動報告

「連携交流部会」「インターネット部会」

・分科会活動報告

「観光分科会」「ちかいなか分科会」「高校生インターンシップ調査・研究分科会」「水源地域活性化分科会」「デザイン分科会」「太白芋分科会」  
「食文化地域活性化分科会」「未来エネルギー研究分科会」

○交流会

参加者 地域内企業、地域内高校、支援機関、金融機関、行政機関、  
地域内会議所・商工会 等

⑦「緊急不況対策事業 特別講演会」開催

日 時 平成21年3月10日（火）

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室

内 容 ○講演会の開催

テーマ「生き残る企業の条件」

講 師 八起会会長

(株)ノグチプランニング 代表取締役 野口誠一氏

参加者 地域内企業、金融機関、行政機関、広域秩父産業連携フォーラム会員 等

(2) 秩父地域の総合ポータルサイトの充実と活用

ポータルサイト未掲載企業の掲載を促進した。今年度、新規に61社登録し、全登録企業数は127社。

①初心者向け「POS講習会」開催

日 時 平成20年9月3日（水） 19時～

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室

講 師 (財)流通システム開発センター

流通標準本部 流通コードサービス部 主任研究員 西山智章氏

参加者 広域秩父産業連携フォーラム会員 等

②「ポータルサイト 個別診断会」開催

日 時 平成20年10月2日（水） 10時～17時

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室

講 師 (有)アイ・リンク・コンサルタント 代表取締役

中小企業診断士

加藤忠宏氏

参加者 FIND Chichibu 会員より希望6社

③「売れるホームページのための 掲載写真撮影講習会」開催

日 時 平成20年10月2日（水） 18時30分から20時30分

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室

講 師 (有)アイ・リンク・コンサルタント 代表取締役

中小企業診断士

加藤忠宏氏

参加者 広域秩父産業連携フォーラム会員 等

④「スタイルシート活用 ホームページ作成講習会」開催

日 時 平成21年3月4日（水）・5日（木） 10時～17時30分

場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室他

講 師 (有)アイ・リンク・コンサルタント

代表取締役 加藤 忠宏 氏

参加者 広域秩父産業連携フォーラム会員 等 22名

### (3) 分科会活動の推進

テーマ毎に分科会活動を実施した。

#### ①観光分科会

立教大学観光学部、(財)埼玉りそな産業協力財団と連携し、全4回のオープン分科会を開催した。

i 20/9/4(木) 18:30~20:30 テーマ「秩父の地域資源と観光開発の可能性」

講師 立教大学 観光学部 安島博幸教授 参加者 26名

ii 20/10/17(木) 18:30~20:30 テーマ「観光のインパクト」

講師 立教大学 観光学部 小沢健市教授 参加者 22名

iii 21/1/16(金) 18:30~20:30 テーマ「フィールドワーク・地域・観光」

講師 立教大学 観光学部 葛野浩昭教授 参加者 23名

iv 21/3/12(木) 18:30~20:30 テーマ「変わる観光を考える」

講師 立教大学 観光学部 稲垣 勉教授 参加者 9名

#### ②ちかいなか分科会

二地域居住・交流移住希望者への紹介データの収集を進めるうえで、秩父・小鹿野・横瀬・皆野長瀬と4つの支部を組織化するとともに、各地域の理解を深めるため「出前会議」を開催し、地元の理解と協力を依頼した。一方で、埼玉りそな銀行さいたま支店にてセミナーを開催したり、都内や県南で開催されるイベント(ふるさと回帰フェア、JOIN LIFE FESTA 08<sup>th</sup>、団塊世代フェスティバル)等へ積極的に参加するとともに、「田舎生活体験者ツアー」を実施し、都市住民に対する「ちかいなか秩父」のPRに努めた。さらに、明治大学政治経済学部森下ゼミと連携し、秩父地域への二地域居住・交流居住・移住に関する魅力調査を実施するなど精力的に活動した。

#### ③高校生インターンシップ調査・研究分科会

秩父ハローワーク、埼玉県地域振興センター、秩父市工業振興課、秩父地域雇用対策協議会(雇対協)、地域内県立高校、地域内企業と連携し、高校生のインターンシップ実施について模索した。昨年度作成した「2008年度版 高校生インターンシップ受入企業ガイド」を4月に高校に配布し活用を促したところ、秩父農工科学高校専攻科に加えて、皆野高校が新たにインターンシップを実施した。実施後に全体会議を持ち、受入企業側と高校側との意見交換会を開催し、改良版となる「2009年度版 高校生インターンシップ受入企業ガイド」を作成した。21年3月に再度全体会議を開催し、ガイドを配布するとともに次年度に向け活用を促した。当初の予定では今後は雇対協に移管する予定であったが、システムの確立をめざし更に研究することとした。

#### ④水源地域活性化分科会

水源地域活性化の事例研究をテーマに人的ネットワークの形成をめざし秩父市、国土交通省関東地方整備局二瀬ダム管理事務所、独立行政法人水資源機構荒川ダム総合事業所、埼玉県県土整備部等と連携し研究会や先進地視察等を実施した。具体的には水源地域ビジョン推進協議会の取り組みなど地域内における活動事例の勉強会や滝沢ダム工事用の原石山トンネルの活用研究として先進地となる長野県坂城町五里ヶ峰横

坑トンネルの視察を実施した。

#### ⑤デザイン分科会

デザインという付加価値をつけることにより企業及び製品等の価値を更に高める研究をテーマに、工業デザイン・商品パッケージデザイン・ランドデザインと各々有識者を招へいし、勉強会を開催した。うち二回はオープン分科会とした。

i 20/11/22(土) 18:00～ テーマ「無印良品とは」 (工業デザイン)

講師 (株)良品計画 企画デザイン・素地開発室 室長 安井 敏氏

ii 21/ 2/17(火) 18:30～20:30《オープン分科会》 (商品パッケージデザイン)

テーマ「ブランド力強化のためのパッケージデザイン・ネーミング研究講座」

講師 明治大学 政治経済学部 木谷光宏教授 参加者 20名

iii 21/ 3/18(水) 18:30～20:30《オープン分科会》 (ランドデザイン)

講師 東京理科大学 専門職大学院知的財産戦略 生越由美教授 参加者26名

#### ⑥太白芋分科会 (再委託事業)

(財)埼玉県中小企業振興公社より、経済産業省地域力連携拠点事業の再委託事業として、農商工連携により絶滅の危機に瀕していた地域資源である「ちちぶ太白サツマイモ」をお菓子に活用し、新たな地域ブランドの創出と販路拡大をめざした。

秩父市内の中学生を対象にイメージキャラクターを公募し、新商品とともにお披露目を地場産センターの2階展示コーナーにて開催し「秩父太白芋」の周知を図った。

お披露目会 21/1/23(金)・24(土) 10:00～17:00 来場者 70社、約120名

#### ⑦食文化地域活性化分科会

埼玉県地域振興センター、埼玉県農林振興センター、秩父市、秩父農工科学高校等と連携しながら、地域の食材を探究し、秩父における地産地消をめざしたメニュー開発等を模索した。また、商品を買う側の気持ちで開発し育てていく「いいものプロジェクト」を実施している(有)良品工房 代表取締役 白田典子氏を講師に招聘し、秩父宮記念市民会館4階会議室にて、オープン分科会を開催した。

オープン分科会 21/2/2(月) 18:30～20:30 参加者 15名

#### ⑧未来エネルギー研究分科会

低炭素社会実現をめざして、太陽光発電等未来エネルギーの活用研究として、太陽光発電パネルメーカー等を講師に招いた勉強会の開催や、地域住民を対象とした無料相談会・普及状況調査(アンケート)の実施、また、秩父市担当職員等とともに、先進地視察(群馬県太田市)を実施した。

i 未来エネルギー相談会 21/1/18(日) 9:00～17:00 秩父公設市場

来場者 1500名 アンケート 300名

ii 太陽光発電勉強会 21/3/9(月) 18:30～20:00 参加者 12名

講師 新興マタイ(株) 環境エネルギー事業部 埼玉営業所 山崎正治氏

iii 先進地視察 21/3/17(火) 群馬県太田市「城西の杜」 参加者 8名

#### (4) 研究開発の促進・中核的支援機関との連携

「彩の国地域プラットフォーム」の支援機関として、中核的支援機関である(財)埼玉県中小企業振興公社や(財)さいたま市産業創造財団、(財)本庄国際リサーチパーク研究推進機構等各支援機関との連携を密にした。

○「地域力連携拠点会議」出席

日 時 平成20年9月17日(水)  
場 所 (財)埼玉県中小企業振興公社

○「食の安全フェア」出席

日 時 平成21年3月14日(土)  
場 所 (財)本庄国際リサーチパーク研究推進機構

(5) 秩父地域ミニ・ビジネススクールの開催(再委託事業)

(財)埼玉県中小企業振興公社より経済産業省地域力連携拠点事業の再委託事業として、明治大学政治経済学部森下正教授にカリキュラム編成を依頼し、秩父地域の若手経営者を対象に、経営の基本事項の習得、経営革新等の諸政策周知、事業継承の諸問題や先輩経営者や専門家の講義等を全9回行った。

コーディネータ 明治大学 政治経済学部 森下 正 教授

受講生 地域内企業 若手経営者・幹部候補生等 22名 (のべ参加人数 139名)

	開催日 (18:30~20:30)	内容	講師	受講生
①	平成20年9月8日(月)	自己評価・自己分析の実践	(有)ウィンビッグ 代表取締役 大石 勝幸 氏	22名
②	平成20年9月22日(月)	人的資源管理の基礎	日本エンプロイアビリティ支援機構 構理事長 梶原 豊 氏	18名
③	平成20年10月1日(水)	売れるマーケティング ブランド作りの基礎	明治大学 政治経済学部 教授 木谷 光宏 氏	19名
④	平成20年10月29日(水)	先進地視察～狭山若手経営者 研究会との合同研修	狭山市訪問企業3社経営者他 明治大学 政治経済学部 教授 森下 正 氏	14名
⑤	平成20年11月12日(水)	若手事業継承者による講演 「人材を人財に」	しのはらプレスサービス(株) 専務取締役 篠原 正幸 氏	15名
⑥	平成20年12月17日(水)	自社経営力分析の基礎	日本創造経営協会 理事 永田 弘道 氏	14名
⑦	平成21年1月19日(月)	ケーススタディ 人的資源管理の応用	(有)ウィンビッグ 代表取締役 大石 勝幸 氏	15名
⑧	平成21年2月2日(月)	ケーススタディ マーケティング理論の応用	明治大学 政治経済学部 教授 木谷 光宏 氏	8名
⑨	平成21年2月23日(月)	ケーススタディ 自社の経営理念・戦略の策定	日本創造経営協会 理事 永田 弘道 氏	14名

2. 産学官コーディネート事業(秩父市委託事業)

昨年度に引き続き、県内において中小企業相談・指導実績を有する中小企業診断士を専門コーディネータとして招聘し、毎週火曜日に地域コーディネータの加藤氏と秩父市求人開拓員と共に企業訪問し、企業が抱える課題、問題克服の助言、指導を行った。尚、加藤氏が多忙のため、水曜日には新たに、元大手一流商社マンとして海外赴任経験がありグローバルな視野をもつ周藤氏を地域コーディネータに迎え、FIND Chichibu 会員の新規開拓やポータルサイト

の掲出促進に努めていただいた。

企業訪問も回を重ねることでより親密な相談を受けるようになり、具体的なアドバイスを実施する事ができた。

専門コーディネータの先生には、昨年度の訪問経験から、「儲かる経営塾」を3回実施いただくとともに、年末から急激に悪化した景気状況により、FIND Chichibu 強谷幹事長の要望を受けて、緊急不況相談とセミナーを開催した。

- ・専門コーディネータ 中小企業診断士 江田元之 氏・高浪正一 氏・高澤 彰 氏
- ・地域コーディネータ 加藤薫一 氏・周藤一之 氏
- ・活動実績 訪問企業数 93社 相談来所数 12社  
 マッチング 1社 産学連携 1社  
 分科会設立 2会

○儲かる経営塾の開催

	開催日 (17:30～19:30)	内容	講師	受講生
①	平成20年5月27日(火)	経営者の心構えと成功のポイント	中小企業診断士 江田元之氏 (株)秩父電子社長 強谷隆彦氏	8名
②	平成20年7月15日(火)	ムリ・ムダ・ムラを省く資金計画の立て方	中小企業診断士・税理士 高浪正一氏	11名
③	平成20年9月2日(火)	今日から始める! ヒット商品創出のポイント	中小企業診断士 高澤 彰氏	9名

○緊急不況相談 平成21年1月6日(火)～3月24日(火) 午後5時～午後9時  
 要電話予約にて開催 5社+1団体が利用

○知っててお得！不況対策セミナー

日時 平成21年2月25日(水) 4時～6時  
 場所 (財)秩父地域地場産業振興センター 経営研修室  
 講師 中小企業診断士 江田元之氏  
 内容 緊急雇用安定助成金制度や緊急保証制度などの公的支援制度の説明や、  
 ピンチをチャンスに生かすヒント等  
 参加者 35名

3. 秩父地域活性化推進事業（秩父地域活性化研究部会・物産部会）

物産部会は、秩父地方における観光及び物産に関する調査、研究、開発を通して地域産業の活性化を目指して発足された。

平成18年度より進めてきた「秩父の色百選の活用研究」と「秩父らしさ発見及び観光アピール」の集大成となる冊子『「マニアックな秩父」体験記と秩父の色100選～地域カラーの選出～』を作成し、行政長をはじめとする関係機関へ配布した。

尚、物産館協力会とも連携し、合同視察研修会を実施した。

(1) 全体会議等

①総会 平成20年 7月14日(月) 17時～ 402会議室

- ②視察研修会 平成20年 10月 9日(木)  
 目的地 福島県 大内宿と地域ブランド「宇都宮の餃子」  
 地場産センター物産館協力会と合同実施
- ③役員会 平成20年 6月22日(日) 19時～ 302会議室

(2) テーマ研究

「マニアックな秩父」ガイドブックの作成について

平成19年1月の皆野町探検から、平成20年7月の横瀬探訪までの現地視察を、秩父市街地・横瀬・荒川・大滝・皆野・長瀬・西秩父と7つのモデルコースとして体験記風に編集した。また、各コースの表紙には、秩父の色100選から地域カラーとして選出した色を各行政マークに彩色し紹介した。

部会 計8回 18:30～21:00 402会議室  
 7/24(木)・8/22(金)・9/11(木)・9/25(木)・10/23(木)・11/10(月)・12/15(月)  
 1/28(水)

『「マニアックな秩父」体験記と秩父の色100選～地域カラーの選出～』 50冊作成  
 行政・商工会議所・商工会等へ配布し、活用PRを依頼した。

4. 需要開拓事業

(1) 物産展・市民まつり等イベント催事への参加

次の物産展・市民まつり等のイベント催事に積極的に参加出展し、秩父地域及び地域の物産を広く紹介・宣伝・販売を行った。

物産展・市民まつり等イベント催事出展一覧表

期 日	出展場所	催 事 名
4月4日～5月8日	羊山公園	芝桜まつり
7月4日～7月6日	桐生地場産センター	2008じばさん夏市
8月13日～17日	山梨県富士川地場産センター	全国特産品フェア in 富士川
9月6日～9月7日	山梨県甲府・国中地域地場産センター	地場産業まつり
9月7日	秩父市立大田小・中学校	第56回秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会
10月4日	池袋西口公園	豊島区トモニー・バザー
10月12日	棕神社例大祭会場	龍勢祭り
10月25日～26日	十日町地域地場産業振興センター	全国自慢の逸品フェスタ
10月26日	山陽小野田市役所	市民まつり
10月26日	三峰ビジターセンター	奥秩父大滝紅葉まつり
11月8日～9日	東村山市役所周辺	第47回東村山市民産業まつり
11月8日～9日	山口・防府地域工芸地場産業振興センター	じばさんフェア08
11月12日～16日	イトーヨーカ堂深谷店	地域フェア
12月13日～14日	桐生地場産センター	2008じばさん冬の市
2月20日～22日	山梨甲府・国中地域地場産センター	地場産業まつり
3月18日～23日	西武百貨店 池袋支店	春の秩父路フェア

3月22日	東京都豊島区公会堂	平成20年度秩父ファンの集い
3月28日	巣鴨商店街	巣鴨さくら祭り

\*延べ74日間 売上 9,690千円

## (2) イベント等の開催

### ①地場産まつりの開催

#### i. 春の地場産まつり

- ・期 間 平成20年5月3日(土)～6日(火)
- ・会 場 1階エレベーター前
- ・内 容 春をテーマにGW期間中の集客増進を図った  
イ.試飲、試食コーナー

#### ii. 夏の地場産まつり

- ・期 間 平成20年8月13日(水)～17日(日)
- ・会 場 地場産センター2階展示コーナー・1階エレベーター前
- ・内 容 体験教室のイベントを開催してお盆期間中の集客増進を図った  
イ.夏休み一研究日替わり体験コーナー (木工・藁草履・押し花)
  - ・ 木材利用拡大検討会にて夏休み木工教室
  - ・ 逸見米吉様の藁草履教室
  - ・ クリエイト(引間様)押し花教室

#### ロ.大抽選会・輪なげ大会

#### ハ.試飲、試食コーナー

### 2 宅配サービス利用者感謝フェア

- ・期 間 平成20年6月25日(水)～平成20年7月31日(木)
- ・内 容 宅配サービス利用者を対象に期間限定、限定商品の割引販売のチラシ  
699通をDMし、さらなる利用を促した。

### 3 ふるさと便フェア

お中元、お歳暮及びご年始の時期に宅配便の送料を割引する「ふるさと便フェア」を実施し、地場産品の利用拡大を図った。

i.お中元期 平成20年 6月25日(水)～平成20年 7月31日(木)

ii.お歳暮期 平成20年12月13日(土)～平成20年12月28日(日)

iii.ご年始期 平成21年 1月 1日(月)～平成21年 1月15日(木)

### 4 全国地場産業振興センター 地場産品交流

秩父の地場産品を他の地場産センターで展示・紹介・販売した。

- ・交流センター 山梨県富士川地域地場産業振興センター  
三重北勢地域地場産業振興センター  
今治地域地場産業振興センター

### 5 その他特設コーナー

季節感を考慮しながら物産館1レジ及び4レジ前平台に特設コーナーを設置し、販売促進に努めた。

4月 1日(火) ～ 5月11日(金) 芝桜フェア

4月15日(火) ～ 5月31日(土) バラ菓子

6月25日(水)	～	7月31日(木)	お中元コーナー
12月8日(月)	～	12月26日(水)	お歳暮コーナー
12月8日(月)	～	12月26日(水)	クリスマスツリー
1月1日(木)	～	1月15日(木)	お年賀コーナー
1月20日(木)	～	2月3日(火)	節分コーナー
1月15日(木)	～	2月14日(土)	バレンタインコーナー
3月1日(日)	～	3月14日(土)	ホワイトデーコーナー
3月15日(日)	～	4月3日(金)	ひな祭りコーナー

## 6 観光文化施設再発見週間の開催

秩父観光文化施設連絡協議会会員施設合同イベントとして、「第13回秩父の文化施設再発見週間」』を次のとおり実施した。

・期間 10月17日(金)～23日(木)

・開催日 10月17日(金)～18日(土)の2日間

先着100名様に秩父の地場産品があたるスピードくじを実施

・参加者 200名

### (3) メディアを利用した地域PR

テレビ埼玉情報紹介番組「テレ玉・ちちぶへGO!」に出演し、センター、地域情報、地場産品等の紹介・宣伝を行った。

その他のテレビ、雑誌等への情報提供、資料提供は随時行った。

## 5. 情報対策事業

### ホームページの活用

昨年度リニューアルしたホームページにより、センター案内、物産館におけるショッピング、施設使用申し込みがネット上より可能となった。

トピックスにて、各種イベント情報等の発信に努めた。

尚、施設申込に関する問い合わせが以前のホームページよりも増加した。

## 6. 直営事業

### (1) 地場産品の展示即売事業

秩父地域の特産品(織物製品、民芸品、地酒、ワイン、銘菓、惣菜、食料品、野菜類等)を主に1階物産館において広く展示紹介、販売を行った。

4・5月は3月中旬からの札所御開帳もあり芝桜の開花時期にあわせてツアー団体客・観光客が訪れた。(GWの人出は昨年同様羊山公園が全国ランキングベスト10入り)当館への立ち寄り人数は4月において、前年比109.1%であり、5月は前年比110.5%だった。売上についても前年比109.8%だった。

GW以降についても季節感あるディスプレイをこころがけ、歳時にあわせたイベントを実施した。

夏季はガソリンの値段が高騰したが、都心から安近短な観光地であるためか物産館への影響はさほど大きくなく、11月までの売上は6月と10月を除き前年を上回った。

秩父夜祭は、平日ということで例年の全面店舗改装を一部改装に変更して実施したが、

来館者数及び売上は昨年とほぼ同じ実績となり、今後も平日開催の場合は一部改装で対応できると確信した。

12月から2月の売上は落ち込んだ。これは9月のリーマンショックにより世界・日本の経済・雇用状況が急速に後退したことが大きく影響した。又、レストランが12月末で廃業となり、2月中旬まで昼食の団体客受け入れがなかったことも一因と考えられる。

いずれにしても、下半期は100年に1度の大不況と言われ少なからずその影響を受けたが、上半期の善戦により、年間を通しての売上は、前年比105.3%であった。

その他、電話注文、ネット販売については、DMによる販売や固定客による再々注文などがあり、ホームページのリニューアルにあわせて更なる顧客の開拓を図った。

物産館売上表 (単位：千円)

月	19年度	20年度	比較増減	増加率(%)
4月	33,152	36,171	3,019	109.1
5月	29,410	32,935	3,525	111.9
6月	15,978	19,192	3,214	120.1
7月	17,142	18,378	1,236	107.2
8月	23,166	25,655	2,489	110.7
9月	20,028	22,729	2,701	113.4
10月	21,743	20,719	-1,024	95.2
11月	24,633	26,656	2,023	108.2
12月	24,585	23,811	-774	96.8
1月	19,681	17,922	-1,759	91.0
2月	14,011	13,057	-954	93.1
3月	18,955	19,172	217	101.1
合計	262,484	276,397	13,913	105.3

## (2) 観光エージェントの誘客

### ① 旅行業者への営業活動

観光団体客誘客のため、首都圏をはじめ、東北・中部地方等の観光業者を訪問し、秩父への誘客及び当センターの立寄り打ち合わせ等を行った。

- ・訪問営業日数 60日
- ・訪問件数 799件

## 2 乗員、乗務員休憩室の整備

2階レストラン前にて、前年同様休憩室を設置し、添乗員・乗務員等に休憩スペースを提供すると共に各種パンフレットを整備し誘客宣伝に努めた。

## (3) 地元小中学校の課外学習等受入

### ① チャレンジ中学生

- ・秩父市立第一中学校

期 間 平成20年7月9日(水)～11日(金) 9時～16時(休息含め7時間)  
参加者 中学1年生 女子3名

- ・秩父市立第二中学校

期 間 平成20年8月27日(水)～29日(金) 9時～16時(休息含め7時間)  
参加者 中学2年生 女子3名

②小学校社会科見学

- ・尾田蒔小学校 3年生 平成20年6月9日(月)
- ・第一小学校 2年生 平成20年6月20日(金)
- ・南小学校 3年生 平成21年2月18日(水)

(4) 施設利用促進事業

センター施設(多目的大ホール、大小会議室、相談室等)を地域内の企業、団体の会議、研修会、展示会等に貸出した。

センター自主事業による会議・研修会は増えたため、利用回数は増加したが、定期的な講習会や祝賀会等の利用が不況の影響から減少し、減収となった。(対前年比93.56%)

センター施設利用状況表

月	19年度		20年度		比較増減	
	回数	使用料(千円)	回数	使用料(千円)	回数	使用料(千円)
4月	124	653	131	711	7	58
5月	99	427	88	397	-11	-30
6月	128	908	133	902	5	-6
7月	112	662	111	814	-1	152
8月	83	467	83	461	0	-6
9月	117	1,419	111	1,338	-6	-81
10月	137	953	138	807	1	-146
11月	110	605	133	628	23	23
12月	78	499	93	542	15	43
1月	89	826	93	617	4	-209
2月	127	1033	107	803	-20	-230
3月	110	774	119	612	9	-162
合計	1,314	9,226	1,340	8,632	26	-594

※ 上記金額は一般貸出の使用料

※ 回数には、無料貸出及びセンター自主事業(会議等)が含まれる。

(5) レストラン経営委託事業

レストラン業務については、秩父鉄道グループの(株)熊倉高原センターに業務委託し実施したが、諸事情により12月末をもって撤退することとなった。

12月までの利用者人数は110.6%(次表参照)、売上額は117.3%とまずまずの成果をあげていたようだが、人件費や光熱水費等の経費がかさみ、グループ全体としての経営が成り立たないと判断された。結果、今期の年間利用者人数は89.9%(次表参照)、年間売上額は94.1%であった。

レストランロビン利用人数表

月	平成19年度	平成20年度	比較増減(%)
4月	5,009	5,896	117.7
5月	3,204	3,873	120.9
6月	2,094	3,097	147.9
7月	2,272	2,592	114.1
8月	1,811	1,601	88.4
9月	2,768	2,184	78.9
10月	3,237	3,107	96.0
11月	3,407	4,213	123.7

12月	2,028	2,009	99.1
小計	25,830	28,572	110.6
1月	1,814	0	0
2月	1,838	0	0
3月	2,308	0	0
合計	31,790	28,572	89.9

尚1月の市報にて、次期レストラン経営者を公募したところ、「栲和銅鉦泉旅館」と弁当仕出しの「こいずみ」2社から問い合わせがあった。協議の結果、それぞれの持ち味を活かし、料理研究家のプロデュースのもと地域の食材やメニューにこだわったレストランとしたい「栲和銅鉦泉旅館」と、団体昼食を得意とする「こいずみ」とで業務を仕分けることとなり、レストランの新装オープンは21年度へ持ち越し、団体昼食は2月から地域らしさをメニューに取り入れて(冬季：おっ切り込みうどん、夏季：冷やし汁)開始した。

## 7. 管理運営事業

### (1) 理事会・評議員会の開催

#### 1 理事会の開催

次のとおり理事会及び書面表決を行い、原案どおり承認可決された。

##### i. 第1回 理事会

- ・月 日 平成20年 5月30日(金)
- ・場 所 財団法人 秩父地域地場産業振興センター
- ・協議事項 議案第1号 平成19年度事業報告及び決算報告について  
議案第2号 評議員の選任について

##### ii. 第2回 理事会

- ・月 日 平成21年 3月26日(木)
- ・場 所 財団法人 秩父地域地場産業振興センター
- ・協議事項 議案第1号 平成20年度補正予算(案)について  
議案第2号 会計規程の変更について  
議案第3号 施設使用規程の変更について  
議案第4号 平成21年度資金運用計画について  
議案第5号 平成21年度事業計画(案)及び予算(案)について  
議案第6号 職員退職給与引当金積立てについて  
議案第7号 評議員の選任について

### ② 評議員会の開催

理事会を開催するにあたり、議案等について意見を求めるため、評議員会を行い、原案どおり理事会に付議することを承認された。また役員について任期満了により新たに選任した。

#### i. 第1回 評議員会

- ・月 日 平成20年 5月26日(月)
- ・場 所 財団法人 秩父地域地場産業振興センター
- ・協議事項 議案第1号 平成19年度事業報告及び決算報告について

ii.第2回 評議員会

- ・月 日 平成21年 3月23日(金)
- ・場 所 財団法人 秩父地域地場産業振興センター
- ・協議事項 議案第1号 平成20年度補正予算(案)について  
議案第2号 会計規程の変更について  
議案第3号 施設使用規程の変更についてか  
議案第4号 平成21年度資金運用計画について  
議案第5号 平成21年度事業計画(案)及び予算(案)について  
議案第6号 職員退職給与引当金積立てについて  
議案第7号 役員の任期満了による改選について

(2) その他の会議の開催

上記の会議の他、必要に応じ管理運営に関する会議・打合せ会を開催するとともに、当センターが事務局をしている「秩父観光文化施設連絡協議会」・「地場産センター物産館協力会」の会議をそれぞれ開催した。

(3) 各種会議等への出席

1 全国地場産業振興センター協議会総会

- ・月 日 平成20年7月10日(木)～11日(金)
- ・場 所 石川地域地場産業振興センター (石川県・金沢市)
- ・参加者 2名 (木村専務・山田事務局次長)

2 全国地場産業振興センター協議会基本問題研究会 (山田事務局次長出席)

i.第1回 基本問題研究会

- ・月 日 平成20年 5月 8日(木)
- ・場 所 東京都 (財)中小企業総合研究機構

ii.幹事会

- ・月 日 平成20年 4月22日(火)
- ・場 所 東京都 (財)中小企業総合研究機構

iii.第2回 基本問題研究会

- ・月 日 平成20年11月18日(火) 17:00～
- ・場 所 東京都 MINATOインキュベーションセンター)

iv.その他

- ・中小企業庁との懇談会(山田事務局次長)  
月 日 平成20年 8月 4日(月)  
場 所 東京都 経済産業省

3 関東経済産業局管内地場産業振興センター協議会

i.協議会総会

- ・月 日 平成20年 6月 5日(木)～ 6日(金)
- ・場 所 (財)山梨県富士川地域地場産業振興センター (山梨県・身延町)
- ・参加者 2名 (木村専務・山田事務局次長)

ii.協議会(事務担当者会議)

- ・月 日 平成20年11月13日(木)～14日(金)

- ・場 所 (財)秩父地域地場産業振興センター 5階 経営研修室
- ・参加者 5名(木村専務・山田事務局次長・野原補佐・斎藤係長・亀井主任)
- \*人材育成研修会同時開催(野原補佐パネラー派遣)

### iii.その他

- ・中小企業庁及び関東経済産業局との懇談会(山田事務局次長)
  - 月 日 平成20年 9月30日(火) 13:30~
  - 場 所 東京都 (財)中小企業総合研究機構
- ・人材育成部会(山田事務局次長)
  - 月 日 第1回 平成20年 5月 8日(木)
  - 第2回 平成20年 9月30日(火)
  - 場 所 東京都 (財)中小企業総合研究機構

## (4) 研修会への参加

### 1 活性化担当者研修

- ・月 日 平成20年 8月 7日(木)
- ・場 所 都市センターホテル
- ・参加者 1名(山田事務局次長)

### 2 地場産業振興センター役職員研修

- ・月 日 平成20年11月18日(火)
- ・場 所 東京都 MINATOインキュベーションセンター
- ・内 容 公益法人制度改革講演会 新制度移行のポイント
- ・参加者 2名(山田事務局次長・加藤事務員)

### 3 全国中小企業活性化支援シンポジウム

- ・月 日 平成20年12月11日(木)
- ・場 所 都市センターホテル
- ・参加者 1名(山田事務局次長)

### 4 公益法人制度改革研修会

- ・月 日 平成20年12月15日(月)
- ・場 所 埼玉県 日興ユーディアル証券 大宮西口支店
- ・内 容 公益法人制度改革について
- ・参加者 1名(山田事務局次長)

### 5 その他研修会

上記のほか公益法人実務、衛生管理者研修、派遣制度セミナー、雇用保険事務、雇用対策政策説明会、マナー講習など、販売員も含めて積極的に職員を派遣参加させた。

### 6 会議出席

おもてなし協議会(ニューツーリズム)、地域ブランド、ジオパーク、商工政策委員会、定住促進委員会等、地域内各種機関団体の会議に参加した。

## (5) 施設管理等

老朽化に伴う補修等を実施した。主なものは次のとおり。

- ・ロビン厨房排水路工事
- ・屋上高架水槽塗装工事

- ・非常用自家発電装置点検整備、格納庫塗装
- ・駐輪場修理
- ・物産館ショーケース照明器具交換
- ・物産館オープン冷蔵ケースコンデンサー掃除、各所点検整備